

令和 7 年第 1 8 回公安委員会会議録

日 時	8 月 7 日（木曜日） 自午後 1 時 3 0 分 至午後 4 時 1 0 分		場 所	公安委員会室
会 議 出席者	公安委員	甲斐委員長 野口委員 小野委員 宮尾委員 吉田委員		
	警察職員	本部長 警務部長 生活安全部長 刑事部長 交通部長 警備部長 情報通信部長		

第 1 聴聞等についての決裁

聴聞 4 件、意見の聴取 2 1 件、事後取消 1 件についての決裁（運転免許課）

第 2 定例会議

1 令和 7 年上半期の犯罪認知・検挙状況等について（生活安全部）

警察本部から、令和 7 年上半期における刑法犯や「電話で『お金』詐欺」及び S N S 型投資・ロマンス詐欺の認知状況、生活環境事犯やサイバー犯罪の検挙状況、熊本県警察街頭防犯カメラシステムの運用状況等について報告が行われた。

公安委員から、熊本県警察街頭防犯カメラシステムに関して「捜査を行うに当たり、カメラの台数を増やしてほしいという要望はないか。」旨の発言があり、警察本部から「県内にある民間の防犯カメラ 3 万台以上を把握しており、捜査の際には協力してもらっている。」旨の説明があった。

2 令和 7 年上半期の犯罪検挙状況について（刑事部）

警察本部から、令和 7 年上半期における刑法犯の検挙状況について報告が行われた。

公安委員から、薬物事犯の検挙状況に関して「1 0 ～ 2 0 代が占める割合が多いというのはショックだ。いろいろな機会を捉え、子供たちの心に届くような啓発等、警察からも働きかけを行ってもらいたい。」旨の発言があり、警察本部から「中・高校生や大学生等を対象に薬物乱用防止教室を開催しており、今後も若年層における違法薬物のまん延防止に向けた広報啓発活動を推進する。」旨の説明があった。

また、公安委員から、S N S 型投資・ロマンス詐欺に関して「検挙率が低いのは全国共通だと思うが、何が要因か。」旨の発言があり、警察本部から「秘匿性の高い通信アプリが利用され、被害金はネットバンキングで口座間送金が行われたり、暗号資産に交換されたりするなど、全て非対面で行われることが、追跡捜査を困難にしていると考えられる。」旨の説明があった。

第 3 報告・決裁等

1 猟銃等所持者の取消処分に関する聴聞の実施についての決裁（生活環境課）

2 人事関係についての報告（警務課）

3 監察についての報告（監察課）

4 令和 7 年公安委員会会議録（第 1 6 回、第 1 7 回）の決裁（公安委員会事務室）

5 苦情（R 7. No. 1 8）の受理・処理についての決裁（公安委員会事務室）

6 公安委員会行政文書管理関係の決裁（公安委員会事務室）